



大迫会長

環境省と一般社団法人
廃棄物資源循環学会(大

環境省
循環学会

脱炭素・省CO₂普及促進

廃棄物処理でシンポジウム

迫政浩会長)は3月6日、東京・港区の航空会館で「廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO₂対策普及促進に係るシンポジウム」を共同で開催した。会場には約30名が参集し、オンライン

で約300名が視聴。各地域の先進的事例を共有するとともに、今後の展望をめぐって活発な意見交換を繰り返した。2050年までのカーボンニュートラル達成に向けて一般廃棄物の収集

運搬や焼却・埋め立て処分に伴う温室効果ガスの大幅な排出削減が求められている。このため環境省は地域の特性に応じた地域循環共生圏の形成や廃棄物処理工程の効率化・省力化に関する実証事



対面・オンライン併用で開催

業などを進めている。当日のシンポジウムでは冒頭、大迫会長がオンラインであいさつに立ち

「廃棄物分野の脱炭素・省CO₂対策は地方自治体の取り組みが焦点となる。各地域の先進的事例を課題解決の参考にしてほしい」と述べ、積極的な取り組みを促した。続いて工藤喜史環境省廃棄物適正処理推進課総括補佐が脱炭素の廃棄物対策を説明。また田中和之佐賀市環境部施設機能向上室長が地域バイオマ

スリ活用による清掃工場

運用、山口浩真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合事務局長がバイオガスのハイブリッド精製と真庭市の生ごみ収集車への利用、井伊亮太パシフィックコンサルタンツ(株)室長が地方公共団体実行計画廃棄物分野ガイドライン案などを紹介した。このあと廃棄物分野の脱炭素化の展望と課題をテーマにパネルディスカ

シオンを展開した。

田村議連会長 藤川全管連会長

水行政を担う水管理・国土保全局に水道担当部署を設ける方向で組織的な調整を進めていく。

水道移管で閣議決定



西村環境相



齊藤国交相



水行政の移管については昨年に政府の新型コロナウイルス感染症対策本部が感染防止対策を強化するため、厚労省の水道関連業務を国交省と環境省に移管する方針を打ち出していた。厚

労省の業務範囲を縮小し、感染症対策や社会保障、雇用対策などに集中させるのが狙いだ。水道行政の移管を盛り込んだ今回の法案によって水道法など定められた行政事務のうち水道の整備・管理は国交省、

国交省は所管している下水道と併せて上下水道行政を一手に担うことになり、新たに水道事業の認可・指導・監督や施設基準の策定、国庫補助をはじめとする施設整備などを担当する。とくに老朽化した施設の修理・更新や災害対応の迅速化・高度化などに一段と拍車をかける見通しだ。下水

通常国会で法案審議・成立へ

政府は3月7日、厚生労働省が所管する水道行政を国土交通省、水質基準関係業務を環境省に移管する「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律案」を閣議決定した。今通常国会での法案審議・成立を経て令和6年4月1日から施行し、新体制に移行する予定だ。水道事業者で組織する全国管工事業協同組合連合会(藤川幸造会長)は水道行政の全面的移管にあたって予算や人員が十分に確保されるよう強く要望している。

全管連は予算・人員確保を要望

策本部が感染防止対策を強化するため、厚労省の水道関連業務を国交省と環境省に移管する方針を打ち出していた。厚労省の業務範囲を縮小し、感染症対策や社会保障、雇用対策などに集中させるのが狙いだ。水道行政の移管を盛り込んだ今回の法案によって水道法など定められた行政事務のうち水道の整備・管理は国交省、

今通常国会で法案が成立すると、国交省と環境省は関係審議会の新設や所管事務の見直しなどに着手する。また水道を公費国庫負担や社会資本整備重点計画法の対象に加え、災害対応の強化などと連動した効率的・計画的なインフラ整備を加速していく。

水道行政の移管にあたって全管連は2月15日、東京・千代田区永田町の自民党本部で開かれた自民党水道事業促進議員連盟(田村憲久会長)の第19回総会に出席し、藤川会長が「水道行政の移管に際しての予算・体制確保及び業界振興施策の充実に係る要望書」を田村会長に手渡した。令和6年度から水道行政の大半が移管されることから、引き続き予算・人員の確保など管工事業界に配慮した絶大な支援を訴えている。



発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774代
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
年額8,800円(税送料込)



ひとつの金具がすべてを変える

らく吊X

お問合せ: 日栄インテック株式会社

日栄インテック 検索

省施工
省人化

「最速の施工」動画

GOOD DESIGN AWARD 2022年度受賞

GOOD DESIGN 賞でも大きな評価を得られた、従来品と「らく吊X」の施工時間の比較動画をぜひご覧ください。

ナットを外さなくても取付けできます
パイプの支え作業ゼロ

パイプの可動が容易

ナットの締め忘れ防止
目視確認が可能

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」